

多高通信

第101号 平成25年12月26日発行

第3回 宮城県高校生地産地消

お弁当コンテスト入賞おめでとう!!

■田中 美智(2年)、相澤 真帆、小野 果菜(1年)
私たちは11月4日に開催された『高校生お弁当コンテスト』に参加してきました。9月の予選は書類での審査でした。私たちは春に家庭部と有志で作った「桜の塩漬け」と野生のサクランボのジャムを生かしたお弁当を考えていましたが、地元食材を多く使うことも条件でしたので塩釜のお店に相談に行きました。その結果、桜の塩漬けを使ったちらし寿司と、肉のジャムソース焼きがメインとなりました。

書類審査で10作品が本選に出場できます。しかし、今年のお弁当コンテストには138作品の応募があったと聞き心配でした。2週間後に予選通過の連絡が入り本当に驚き、早速お世話になったお店に報告に行き喜んでいただきました。しかし、ここから本選までが大変でした。毎週末に試作を繰り返し、そのたびに亀喜寿司さんとフランス料理店のシエヌーさんにアドバイスをいただき通いました。レシピを手直しし、盛り付けを工夫して4回目で綺麗なちらし寿司になりました。

コンテスト本選は宮城大学食産業学科の調理室で行われました。出場していたどの学校もプレゼンテーションや展示の準備が素晴らしく、圧倒されてしまいました。調理時間は60分に小分けしたものと両方作る方もありました。ミの方や商品化するための「コンビニ各社、そして審査員の方々と、とても多くの方々に見守られる中での調理でした。調理後には、「塩釜の桜、七ヶ浜のサクランボ、校庭の桜の紅葉と、地



元の桜にこだわったお弁当であることのアピールしたプレゼンテーションを行いました。審査員の方に「おいしいね」と言われて嬉しかったです。審査発表と表彰式では、緊張半分あきらめ半分でしたが入賞することができ、自作食材が良かったと好評をいただき感激しました。副賞として、ミニストツプで商品化される予定となっています。

最後に、試作のたびに相談にのっていただいた亀喜寿司さん、シエヌーさん、七ヶ浜のタコを提供してくださった仲卸市場の川村商店さん、無農薬のササニシキを提供してくださった鈴木有機農園さん、梨を提供してくださった林檎の木さんにはこの場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



「ふれんどりーと〜く」に参加しました

■大塚 令桂(1年6組)、小野 果菜(1年7組)
11月7日に行われた、仙塩地区の高校生が合同で開催する文化祭、「ふれんどりーと〜く」に参加し、私たちは着ぐるみガンダムの出演と津波痕調査の展示をしました。当日は1年生の田中美智さん、佐々木翔太くん、矢本颯真くん、橋浦耀佑くんによるガンダムの出場とインタビューが会場を盛り上げました。また、観客として会場にいらした方々と一緒に記念撮影したりと、展示会場でも一際目立っていて大人気でした。



修学旅行 三 京都・奈良・大阪

■修学旅行実行委員長 時枝 李帆(2年3組)
私たち2学年は、12月3〜6日に修学旅行に行ってきました！京都では全員で金閣寺、三十三間堂、清水寺に行き、趣深い建造物を見学しました。また、2日目の班別自主研修では、それぞれが心に残る思い出を作ることができたと思います。



写真提供 時枝李帆さん、松本れいなさん

多賀城高校の校庭が、車両避難場所に指定されました

多賀城市と多賀城高校が、災害時に校庭を車両避難場所とする覚書を締結しました。災害時に校庭を開放し、避難車両を500台程度を受け入れ、必要に応じて体育館への避難誘導もおこないます。

公私間教員交流研修 公開授業

■高谷 将宏 先生(数学科)
公私間教員交流研修により常盤木学園高校から派遣されました高谷将宏です。教科は数学、部活動は弓道を担当しています。この制度は、公立と私立の優れた教育実践を互いに経験し、本県の高校教育に活かし生徒に還元することを目的としています。来年度は現在、常盤木学園高校に派遣されている今泉晃広先生が多賀城高校に戻ってこられます。

多賀城高校の先生方、生徒の皆さんから、授業、部活動、校務分掌などにより多くの事を学んでいます。その中でも特に、「凄いな、さすがだな」と感じている点があります。「自立した生徒が多く、生徒が主体的に取り組む場面が多い」、「進路指導の態勢がしっかりして学習には最適な環境である」、「部活動がとても盛んである」、「様々な力をもった先生方がとても多い。」などです。

12月12日におこなわれた公開授業には、教育庁、多賀城高校、常盤木学園高校の先生方に参加していただきました。生徒の皆さんも私も、緊張してしまいましたが、1年1組の皆さんの協力もあり予定した進捗を扱うことができました。

これからも、多くのことを皆さんや先生方から教えていただき、公私立学校の枠を越えて、今の、そして未来を担う高校生のために少しでも貢献することができたら良いなと考えています。

